カラー が新世代のブルパップ方式として開発した，モデルKGP。　八幡国の事情も反映したようなものだ。

▲ドイツのAMPテクニカル・サービス社が製作する，新世代のブルパップ・タイプ・スナイパー・ライフル・モデルDSR-No.1。すでに，ドイツ・北バイエルン州の特殊部隊SEKに採用されている。基本的にはボルト・アクション式で，ベーシック・モデルとして7.62㎜×51，.300ウィンチェスター・マグナム，.338ラプアの3つの口径のモデルが供給されている。

今回，新製品として持ち込まれていたモデルは，7.62m×51サブ・ソニック（亜音速）弾薬を使用する，AMPモデルDSR－サイレンサーだ。特殊作戦用として製作された。ハンド・ガード部分内のバレル外周が，そっくりサイレンサーとなっており，発射音を大幅に減少できる製品だ。